

2019 年度
年 次 報 告 書

一般社団法人日本臨床心理士会

東京都文京区本郷二丁目 27 番 8 号

目 次

I. 2019 年度 事業報告書

はじめに.....	1
1. 委員会活動報告.....	4
(1) 編集委員会.....	4
(2) 倫理委員会.....	4
(3) 医療保健領域委員会.....	5
(4) 産業・組織領域委員会.....	6
(5) 被害者支援委員会.....	6
(6) 教育領域委員会.....	7
(7) 私設心理相談領域委員会.....	8
(8) 児童福祉委員会.....	9
(9) 障害者福祉委員会.....	9
(10) 高齢者福祉委員会.....	10
(11) 司法矯正領域委員会.....	10
(12) 支援事業委員会.....	11
(13) 自死予防専門委員会.....	11
(14) アディクション対策専門委員会.....	12
(15) ひきこもり対策専門委員会.....	13
2. プロジェクトチーム活動報告.....	14
(1) 公認心理師制度対応プロジェクトチーム.....	14
(2) 災害支援プロジェクトチーム.....	15
(3) 研修企画検討プロジェクトチーム.....	16
3. 臨床心理講座・研修会開催状況.....	17
4. 電話相談事業.....	21
5. ひきこもりの家族支援事業.....	22
6. 雑誌、メールマガジンの発行.....	24
7. ホームページの利用状況.....	30
8. 行政機関、他団体・機関への委員・役員等の選出状況.....	32
9. 後援名義使用承認一覧表.....	33
10. 団体会員主催研修会等共催承認一覧.....	35
11. 代議員会・理事会・常任理事会に関する事項.....	39
(1) 代議員会.....	39
(2) 理事会.....	39
(3) 常任理事会.....	40

II. 2019 年度決算報告書

貸借対照表等決算書類.....	43
-----------------	----

役員名簿.....	52
-----------	----

代議員名簿.....	53
------------	----

2019 年度事業報告

はじめに

2019 年度もそれまでの諸事業を概ね踏襲し、各委員会、プロジェクトチーム活動を通して会員への情報提供、研修事業等を行った。

第 4 期初年度となる 2019 年度における当会事業を以下のとおり行ったことを報告する。

○ 臨床心理士をとりまく状況の変化への対応

- ① 当会は人々の心の健康の保持向上に寄与することを法人の目的とし、会員の資質と技能の向上、社会活動の支援など、臨床心理士の職能団体としての活動の一層の充実に取り組み、社会における臨床心理士の存在感のさらなる向上に努めてきた。
- ② 2019 年度は会員の動向調査を実施する年度に当たり、公認心理師資格に関する調査項目を加えた結果、当会会員の約 8 割強が既に公認心理師資格を併せ持つことが確認された。この状況を踏まえ、当会として一般社団法人日本公認心理師協会との連携を維持していくことの必要性を改めて確認した。
- ③ 団体会員のうち 21 団体が公認心理師関連の名称変更を行ったことを確認したが、これらについても当会団体会員として、研修講師の派遣や情報提供等、これまで通りの連携協力を行ってきた。また、それぞれの団体の会員に不利益が生じないように、対応を工夫してきた。

○ 社会の要請への対応

前年度に引き続き、以下のとおり社会の要請に対応した。

- ① チーム学校の考え方に基づくスクールカウンセラーのあり方等に関する研修や諸会議、発達障害支援に関する会議等に参画した。
- ② 学校での事件、事故への第三者委員会委員推薦について協力した。
- ③ チーム医療関連団体、福祉関連団体、経済産業関連団体等との連携・協力に取り組んだ。
- ④ 法務省人権相談への協力、最高裁ハーグ条約関連の子の引き渡しをめぐる依頼に協力した。
- ⑤ 自殺対策、ひきこもり対策、障害者福祉等さまざまな当事者団体との連携・協力を、委員会活動も含めて行った。
- ⑥ 海外への緊急スクールカウンセラー派遣に対応した。感染症関連の支援として他団体と連携して対応した。
- ⑦ 当会としての社会貢献活動として、電話相談、ひきこもり家族支援プログラムを実施した。

○ 研修事業

前年度に引き続き、以下のとおり研修会及び臨床心理講座を実施した。

なお、研修会毎のアンケート調査では研修満足度が高い一方、地方開催を要望する声が大きく、引き続き今後の課題である。

- ① 定例研修会Ⅰを東京で 2 日間、定例研修会Ⅱを大阪で 2 日間開催し、合計 4,379 名が参加した。
- ② 当年度が 4 回目となる「臨床心理士」新規資格取得者基礎研修会を開催し、302 名が参加した。
- ③ 後述のとおり、災害支援プロジェクトチーム及び被害者支援委員会の企画により、「災害心理支援活動の方向性の共有と今後の課題」をテーマとする 2019 年度災害支援研修会を開催し、

全国都道府県団体委員の担当者 40 名、CPAT 関係者 24 名に加え、一般会員からも 120 名の参加があった。

- ④ 産業・組織領域委員会により団体委員の担当者研修会を開催し、44 名の参加を得た。なお、医療保健領域委員会も 2 月 24 日に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した。
- ⑤ 臨床心理講座を計 41 講座開催し、延べ 1,950 名の参加があった。各講座の定員 50 名に対し平均 47.6 名の参加であった。なお、3 月に 6 講座の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した。
- ⑥ 産業・組織領域委員会、司法矯正領域委員会により団体委員が主催する研修会に講師派遣の協力を行った。
- ⑦ 認知機能・神経心理アセスメント研修（認知症コース・ベーシック）及び同研修（高次脳機能障害コース）を各々 2 日間コースで実施し、計約 300 名が参加した。

○災害への備え

以下のとおり活動するとともに、前年度作成した災害時の心理支援のためのガイドラインを広報し、これに基づく研修会を行った。

- ① 前年度に引き続き災害支援ブロック活動の推進に努めた。
- ② 団体委員を通じ、災害時に活動する会員の災害医療研修への参加費を助成するとともに、研修修了者による活動グループの組織化を引き続き進めた。

○委員会等組織体制の継続

前年度に引き続き、15 委員会と 3 プロジェクトチームで活動を進めた。

なお、各委員会及びプロジェクトチームからの報告は 4 ページ以降に記載のとおりである。

○公認心理師制度への当会としての対応

- ① ホームページ、雑誌、メールマガジンを通じ、会員への諸情報の提供を継続した。
- ② 一般社団法人日本公認心理師協会との連携・協力関係を維持するとともに、同協会の活動支援を継続した。

○事務局担当事業

最後に事務局担当事業について以下に報告する。

- ① 総務部、研修事業部、支援事業部の組織体制を継続し、常勤 6 名、非常勤 3 名で運営した。なお、欠員となっている事務局員について、新規採用に向けて検討を進めた。
- ② 会員への広報としてホームページを適宜更新するとともに、雑誌を 2 回発行し、メールマガジンを 9 回配信した。
- ③ 臨床心理講座の Web 申込、研修会の Web 申込が順調に行われた。
- ④ 前年度に引き続き、約 40 名の相談員により定例電話相談を実施した。詳細は 21 ページに記載のとおりである。
- ⑤ 前年度に引き続き、支援事業委員会及びひきこもり専門委員会の協力を得て、ひきこもりの家族支援事業として、セミナー・相談会、グループセミナー等を実施した。詳細は 22～23 ページに記載のとおりである。
- ⑥ 行政、自治体等からの諸要請に対し、各委員会等との連携のもとに適宜対応した。

- ⑦ 東日本大震災関連で福島県教育委員会からの要請に応じて会議に参画した。
- ⑧ 委員会・プロジェクトチームの活動に関する事務局協力体制を強化し、引き続き多くの会議を事務局員がサポートした。また、会議開催においては一部 Web 会議システムを活用した。
- ⑨ 8回目となる会員の動向調査を実施した。

【会員の動向】

2018 年度末会員数	20,988 名		
2019 年度入会者	636 名	退会者	431 名
2019 年度末会員数	21,193 名		

1. 委員会活動報告

(1) 編集委員会

メンバー	氏名	2019年度活動報告
委員長	徳丸 享	1. 委員会を5回開催した。(5月18日、7月14日、9月21日、11月24日、1月26日) ※3月29日は中止した。 2. 87号を2019年7月31日に刊行し、8月初旬に会員等に発送した。 3. 88号を2020年1月31日に刊行し、2月中旬に会員等に発送した。 4. 特集および社会のニーズと心理臨床の記事はホームページの会員ページから閲覧可能とすることとし、執筆者には謝礼金を支払うこととした。
担当役員	高橋 幸市	
副委員長	厚坊 浩史	
委員	石塚 典子	
委員	坂本 憲治	
委員	増井 紀子	
協力委員	松浦 慶子	
事務局	角 充宏	

(2) 倫理委員会

メンバー	氏名	2019年度活動報告
委員長	宇田川 一夫	1. 会員の倫理意識の向上のための啓発活動を行う。 (1) 全国の会員および都道府県臨床心理士会に対し、倫理能力の向上と「倫理がトライン」の理解を深めるため、研修講師を複数回派遣した。 (2) 全国の会員向けに倫理能力の向上と「倫理がトライン」の理解を深めるために定例研修会において「倫理ワークショップ」を大阪で開催した。 (3) 臨床心理講座で倫理に関する講座を1回開催した。 2. 倫理をめぐる相談・苦情および倫理違反への対応を行う。委員会を5月、7月、9月、11月、1月、3月の年6~7回開催した。 3. 内外組織と連携する。 (1) 他の団体の倫理委員会と連携して対応した。 (2) 倫理問題で当会と他の委員会、および他機関と連携を行った。 4. 倫理規程・綱領の改訂および倫理がトライン、対応指針の見直しを継続的に行った。
担当役員	奥村 茉莉子	
委員名	非公表	
事務局	水谷 孝之	
事務局	法眼 裕子	

(3) 医療保健領域委員会

メンバー	氏名	2019年度活動報告
委員長	花村 温子	<p>1. 委員会は第3期後期委員会としては5月25日(土)、第4期前期委員会としては10月5日(土)、11月24日(日)、に開催した。 ※3月24日(月・祝)は延期した。</p> <p>2. 前期からの活動(チーム医療関連、自殺対策、公認心理師関連、診療報酬改定)を継続した。</p> <p>3. 第26回医療保健領域研修会を令和1年10月6日(日)東京にて開催した。</p> <p>4. 研修PTの横断的な研修企画(児童虐待)に、医療の委員を推薦した。</p> <p>5. 第10回都道府県臨床心理士会医療保健領域担当者研修会を令和2年2月24日(月・祝)に日本臨床心理士会事務所にて開催予定であったが、新型コロナウイルスの全国的な流行に伴い、中止した。</p> <p>6. 会員にとって有益な医療保健領域の情報を当会雑誌、ホームページにて発信した。HP会員ページの欄に各種調査の報告が掲載されている。</p> <p>7. 「公認心理師法」施行後の対応に向けて情報収集に努めた。</p> <p>8. チーム医療関連では、他医療関連団体との有益な連携、協力体制強化により、情報収集を行った。</p> <p>9. 2018年度に実施した「第4回医療領域で働く臨床心理士対象のウェブアンケート」結果をホームページにてデータを掲載した。</p> <p>10. 障害福祉領域委員会、高齢者福祉領域委員会と合同で、認知機能アセスメント、高次脳機能障害に関する研修会を企画し、実施した。</p> <p>11. 臨床心理講座を4本企画し3本実施、そのうち1本は新型コロナウイルス流行の影響で新年度に延期した。</p> <p>12. 前期作成「医療における心理職の領域別達成目標案」を見なおし、2011年作成の「医療保健領域における臨床心理士の業務」を改定した。</p>
担当役員	津川 律子	
副委員長	梨谷 竜也	
副委員長	福田 由利	
委員	相川 祐里	
委員	河西 有奈	
委員	高野 公輔	
委員	野村 れいか	
協力委員	小林 清香	
協力委員	藤城 有美子	
事務局	水谷 孝之	

(4) 産業・組織領域委員会

メンバー	氏名	2019年度活動報告
委員長	花村 温子	1. 委員会を第3期後期委員会として6月15日に開催し、第4期前期委員会としては2019年11月18日、2020年2月9日に開催した。その他必要に応じてメールで連絡を取り合っている。 2. 定例研修会に延べ2日参画した(2019年10月東京、2020年2月大阪)する。 3. 講師派遣を9回実施した(10回目を3/15に実施予定であるが、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催については未定である)。 4. 都道府県臨床心理士会担当者研修会を6月15日に開催した。 5. 関連団体に協力を行った(東京経営者協会)。 6. 新規取得者のための基礎研修会に協力した。 7. 日本公認心理師協会主催のストレスチェック実施者研修会の実施に協力を行った。
担当役員	高田 晃	
副委員長	種市 康太郎	
委員	有園 愛	
委員	打和 登	
委員	金山 麻李	
委員	坂井 一史	
委員	坊 隆史	
協力委員	馬ノ段 梨乃	
協力委員	島津 明人	
協力委員	三宅 美樹	
事務局	水谷 孝之	

(5) 被害者支援委員会

メンバー	氏名	2019年度活動報告
委員長	高田 晃	1. 委員会の開催 第1回委員会、5月19日開催 第2回委員会、9月21日開催 第3回委員会、10月4日開催 第4回委員会、12月1日開催 2. 被害者支援研修会(定例研修会 東京 10月5日) テーマ: 精神分析的心理療法と被害者支援・母親カウンセリングにおける被害者支援の視点 3. 災害支援研修会の開催(東京 12月1日) (災害支援プロジェクトチームと合同企画) テーマ: 災害心理支援活動の方向性の共有と今後の課題
担当役員	花村 温子	
副委員長	西脇 喜恵子	
委員	稲本 絵里	
委員	窪田 由紀	
委員	櫻井 鼓	
委員	樋口 純一郎	
事務局	水谷 孝之	

(6) 教育領域委員会

メンバー	氏名	2019年度活動報告
委員長	高田 晃	<p>1. 学校臨床心理士ワーキンググループ活動へ協力。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第24回学校臨床心理士全国研修会（7月28日、京都） ・日本心理臨床学会での学校臨床心理士ワーキンググループ企画シンポジウム（6月、パシフィコ横浜）「スクールカウンセラーの専門性を支えるもの」 <p>2. 委員会の開催</p> <p>第1回：10月6日（東京）</p> <p>3. 第5回教育領域研修会の開催（東京定例研修会）</p> <p>4. 文部科学省等関係機関への教育領域関連活動での支援協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ防止対策協議会への参加1回 ・文科省不登校に関する調査研究協力者会議フリースクール等に関する検討会議合同会議出席（1回） <p>5. 国外から緊急支援要請に備えての名簿を作成中</p> <p>6. 日本公認心理師協会教育分野委員会との連携・協力（WISC-IV研修会 3月20日 東京）</p>
担当役員	村上 雅彦	
副委員長	石川 悦子	
委員	窪田 由紀	
委員	高野 久美子	
委員	中谷 敬明	
委員	元永 拓郎	
事務局	水谷 孝之	

(7) 私設心理相談領域委員会

メンバー	氏名	2019年度活動報告
委員長	村上 雅彦	<p>1. 委員会を1回開催した。(12/14)</p> <p>2. 平成31年10月6日(日)定例研修会Ⅱ(東京ビックサイト)において、「私設心理相談領域におけるこれからの連携と協働②—多様性とコミュニケーション—」をテーマとした研修会を開催した。午前は松本拓真先生の講演、午後は委員によるシンポジウム形式とした。</p> <p>3. 日本臨床心理士会雑誌に下記を寄稿した。 第87号「私設心理相談領域におけるこれからの連携と協働—私設心理臨床は生き残れるか?—」 第88号「私設心理相談領域におけるこれからの連携と協働②—多様性とコミュニケーション—」</p> <p>4. 私設心理相談機関のあり方についてのガイドラインを改訂し検討した。</p> <p>5. 私設心理相談機関のリスト作成と相互交流のあり方について検討した。</p> <p>6. 司法矯正やアクション対策も含めて、医療・保健、福祉、教育などのさまざまな領域との連携・協力について検討した。</p> <p>7. 公認心理師の受験資格等の問題について検討した。</p>
担当役員	津川 律子	
副委員長	岩倉 拓	
委員	小林 菜穂美	
委員	田中 究	
委員	田中 ひな子	
委員	人見 健太郎	
委員	布柴 靖枝	
事務局	水谷 孝之	

(8) 児童福祉委員会

メンバー	氏名	2019年度活動報告
委員長	高橋 幸市	<p>1. 委員会を2回開催した(10月6日、12月14日) ※3月28日は中止した。</p> <p>2. 定例研修会I(10/6、東京)に第18回児童福祉専門研修会を開催した。テーマは「妊産婦と乳幼児期の母親のメンタルヘルスへの貢献」で、参加者は228名であった。また、同研修会で研修企画検討プロジェクトチーム企画シンポジウム「児童虐待一領域を超え、総合的理解と連携の構築を求めて」の開催に協力し、八木安理子委員がシンポジストとして登壇した。</p> <p>3. 都道府県団体会員担当者研修会は、新体制の発足が遅れ、10月の定例研修会の実施もあり準備が整わず今年度は開催を断念した。</p> <p>4. 臨床心理士子育て支援合同委員会については、第15回子育て支援講座(6/30、「ネット社会と子育て支援」)、並びに「子育て支援と心理臨床第18巻」(福村書店刊)の編集発行に協力した。</p> <p>5. 健やか親子21にも例年通り参加した。</p>
担当役員	高田 晃	
副委員長	中垣 真通	
委員	内海 新祐	
委員	川野 由紀子	
委員	武田 由	
委員	八木 安理子	
協力委員	小林 規江	
事務局	水谷 孝之	

(9) 障害者福祉委員会

メンバー	氏名	2019年度活動報告
委員長	嘉嶋 領子	<p>1. 委員会を3回開催した(4月14日、10月26日、2月8日)</p> <p>2. 定例研修会に延べ4日間参画した。</p> <p>3. 日本障害者協議会総会、政策委員会に参加、協力した。</p> <p>4. 文部科学省：第15回特別支援教育ネットワーク推進委員会に参加した。</p> <p>5. 神経・認知アセスメント研修のプログラム検討に参加し、高次脳機能障害のアセスメント研修を企画、実施した。</p>
担当役員	高橋 幸市	
副委員長	小林 真理子	
委員	武部 正明	
委員	中津 大介	
委員	山口 加代子	
協力委員	四ノ宮 美恵子	
協力委員	日戸 由刈	
協力委員	緑川 晶	
事務局	水谷 孝之	

(10) 高齢者福祉委員会

メンバー	氏名	2019年度活動報告
委員長	香川 克	1. 高齢者支援領域で活動する会員向けに、高齢者心理臨床の実践や研究に関する最新の知識や技術向上の獲得を目的とした研修会を、10月・2月の定例研修会の際に開催した。 2. 医療保健領域委員会・障害者福祉委員会と合同で、第2回・認知機能・神経心理アセスメント研修（認知症コース・ベーシック）を、7月6日・7日の2日間にわたり実施した。 3. 上記の諸事業を実施するため、4月14日・11月4日の計2回の委員会を開催した。
担当役員	高橋 幸市	
副委員長	小野寺 敦志	
委員	桑田 直弥	
委員	沼田 悠梨子	
委員	藤田 雄	
委員	若松 直樹	
協力委員長	扇澤 史子	
協力委員	大庭 輝	
事務局	水谷 孝之	

(11) 司法矯正領域委員会

メンバー	氏名	2019年度活動報告
委員長	高橋 幸市	1. 委員会を年4回開催した（定例研修会の際の委員会も含む）。 2. 第9回司法矯正領域研修会の実施結果を『雑誌』第87号に、第10回司法矯正領域研修会の実施結果を『雑誌』第88号投稿し、委員会活動の広報に努めた。 3. 司法矯正領域における心理専門職（例えば、刑事施設の処遇カウンセラー）の採用情報等の広報に協力した。 4. 令和元年10月の定例研修会において、第10回司法矯正領域研修会を開催した。その際、委員会を開催した。 5. 講師派遣について、4件（和歌山県、徳島県、長崎県、愛媛県）実施した。 6. 広報活動の一環として、日本臨床心理士会のメールマガジンを活用した。
担当役員	徳丸 享	
副委員長	渡邊 悟	
委員	大谷 治子	
委員	町田 隆司	
委員	山本 哲裕	
委員	遊間 千秋	
委員	吉田 里日	
協力委員	渡部 信吾	
事務局	水谷 孝之	

(12) 支援事業委員会

メンバー	氏名	2019年度活動報告
委員長	奥村 茉莉子	1. 委員会を9月、11月、1月に計3回開催した。 2. 家族支援セミナー・相談会を2回開催した。 3. 家族グループセミナーを5回開催し、各回4～7名の参加があり、討議の進展があった。※3月23日(月)は延期した。 4. 臨床心理士の集いを1回開催し、今後の取り組みを検討した。 ※3月3日(火)は延期した。 5. ひきこもりの臨床心理講座を2回開催した。 6. 定例電話相談を引き続き実施した。相談員の研修会を2回開催した。また臨床心理講座も1回開催した。 7. SNS 関連臨床心理講座を2回開催した。実際の相談に関する検討はまだ行っていない。 8. 支援事業のあり方に関する協議はまだまとまった検討結果になっていない。
担当役員	徳丸 享	
委員	井利 由利	
委員	齋藤 ユリ	
委員	水谷 孝之	
委員	吉村 聡	
事務局	法眼 裕子	

(13) 自死予防専門委員会

メンバー	氏名	2019年度活動報告
委員長	徳丸 享	1. ウェブによる開催を含めて委員会を4回開催した。 (10月6日、11月29日、12月15日、2月〇日) 2. 2020年3月の自殺対策強化月間に関しては、行政等からの情報をHPを通じて発信した 3. 自殺対策円卓会議、第5回自殺対策ネットワークづくりに関する全国協議会に委員が参加し、自殺対策の動向について情報収集を行った。 4. 定例研修会(10月6日)に自死予防専門研修会を実施した。受講者は89名であった。 5. 雑誌88号に研修会報告と自殺対策の動向を伝える記事を掲載した。
担当役員	高田 晃	
副委員長	勝又 陽太郎	
委員	大塚 尚	
委員	喜多見 学	
委員	梨谷 竜也	
協力委員	高井 美智子	
協力委員	高橋 あすみ	
事務局	水谷 孝之	

(14) アディクション専門委員会

メンバー	氏名	2019年度活動報告
委員長	信田 さよ子	<p>1. 今期の委員会スタートが遅れたため、年2回（11月と2月）の開催になった。</p> <p>2. 2020年2月8日（土）に第7回定例研修会を開催した。</p> <p>3. 当会雑誌に本委員会活動に関する記事を寄稿することで、会員の関心を喚起し周知を図るようにした。</p> <p>4. 当会主催の臨床心理講座（2020.2.29 ネット依存）において講義を行うことで、心理職のこの領域への関与、会員同士の交流をはかった。</p> <p>5. 日本公認心理師協会のアディクション臨床委員会をはじめ、引き続き関連団体や諸学会との交流や協力をはかった。</p> <p>6. ギャンブル依存やゲーム障害をめぐる国内外の動向の把握並びに情報収集に努めた。</p> <p>7. 当会をめぐる状況の変化に応じて、本委員会の活動の可能性を探り、心理職のこの領域への関与を深めるための対策を練った。</p>
担当役員	花村 温子	
副委員長	三原 聡子	
委員	奥田 由子	
委員	河西 有奈	
委員	厚坊 浩史	
委員	小西 友	
協力委員	平野 学	
事務局	水谷 孝之	

(15) ひきこもり専門委員会

メンバー	氏名	2019年度活動報告
委員長	平野 学	1. 会議を5回開催した(5月,9月,11月,12月,2月)。 2. 定例研修会(10/5)を企画開催した。 3. 新規資格取得者のための研修会(5/12)に参加した。 4. 臨床心理講座を1回開催した(5/26、尚、11/3は翌年に延期した)。 5. ガイドに関しては、10/5の定例会参加者に配布した。各県士会にも年度内に送付予定(担当者研修会案内関連諸文書の発信時に)。 6. 支援事業委員会に協力する形で、家族支援セミナーや相談会に参加した(5/25,11/2)。また「各地域の現状と心理職のかかわり等に関する調査」に協力した。 7. 関係する様々な催しに積極的に参加しつつ、その報告等、メルマガリストで行なう形で、委員会内で共有しあった。 8. 日本公認心理師協会をはじめ、関係する団体との連携を含めさらに行なうべきことを検討した。その結果、各県士会から担当者を出してもらい、新年度に担当者研修会を開催すべく準備を始めた。 9. 上記諸事業をふまえ、当会の会誌に適宜寄稿し、会員等のこの領域への関心を高めるべく努力した。
担当役員	村上 雅彦	
副委員長	境 泉洋	
委員	齋藤 暢一朗	
委員	竹中 哲夫	
委員	板東 充彦	
委員	邑口 紀子	
委員	屋代 久美	
事務局	水谷 孝之	

2. プロジェクトチーム活動報告

(1) 公認心理師制度対応プロジェクトチーム

メンバー	氏名	2019年度活動報告
代表	野島 一彦	<p>*会議開催=4回開催</p> <p>1. 心理職が大同団結できるような職能集団として日本公認心理師協会をサポートした。また日本臨床心理士会と公認心理師協会の連携のあり方について検討した。</p> <p>2. 臨床心理士と公認心理師の質の向上のために他団体との連携も視野に入れて生涯研修システムを構築するよう検討を続けた。</p> <p>3. 臨床心理士と公認心理師の雇用を増やすような職域拡大について情報交換を行いながら検討を続けた。</p> <p>4. 公認心理師の上位資格についてさらに情報収集を行い、他団体との連携も視野に入れて検討を続けた。</p> <p>5. 政治連盟について情報を収集しさらに検討した。</p>
担当役員	奥村 茉莉子	
副代表	平野 学	
委員	内田 利広	
委員	大御 均	
委員	矢島 潤平	
協力委員	元永 拓郎	
事務局	水谷 孝之	

(2) 災害支援プロジェクトチーム

メンバー	氏名	2019年度活動報告
代表	奥村 茉莉子	<p>1. PT 会議は3回の開催となった。教育領域と保健医療領域委員会からの参加を引き続きいただいた。※3月28(土)はWeb会議とした。</p> <p>2. 関東、中部、中四国、九州・沖縄ブロックの活動については情報を共有した。</p> <p>3. JIMTEF 研修には引き続き各回10名程度の参加があり、初回参加者には参加費の半分の助成した。</p> <p>4. ブロック活動が全体ではまだ行われていない。</p> <p>5. 研修会は担当者、CPATに加え、一般会員等の参加も得て開催し、ガイドラインをもとに200名の研修会となった。</p> <p>6. JIMTEFには委員会参加した。</p> <p>7. 豪雨災害、台風災害などで本部を立ち上げ、連携を試みたが、今年度の具体的な支援活動は行われなかった。</p> <p>8. 記録様式の検討はまだ行われなかった。</p>
担当役員	徳丸 享	
副代表	池田 美樹	
委員	池 雅之	
委員	小俣 和義	
委員	富永 良喜	
委員	中津 大介	
委員	宮崎 圭子	
協力委員	今村 友木子	
協力委員	西田 泰子	
オブザーバー	小林 清香	
オブザーバー	中谷 敬明	
事務局	水谷 孝之	

(3) 研修企画検討プロジェクトチーム

メンバー	氏名	2019年度活動報告
代表	鶴 光代	<p>1. 研修企画PT 会議を定例研修会や臨床心理講座のテーマが揃う時期等に適時開催した。</p> <p>2. 定例研修会の名称や内容の重複等がないかを検討し、重複等がないようにした。</p> <p>3. 臨床心理講座も名称や内容の重複等がないかを検討、重複等がないようにした。</p> <p>4. 社会的に要請されている虐待への支援についてシンポジウムを企画開催し、会員の研修に努めた。職域の拡大に幾らかに寄与した。</p> <p>5. スーパービジョンの仲介の PR 活動を昨年度以上には行えなかった。スーパービジョン仲介の申込みが少ないことから、本事業の見直しが必要ということになった。</p> <p>6. 会員や国民の動向等から、当会が行う研修内容について、必要な研修内容を具体的に挙げ、次年度実施に向けて検討した。</p>
担当役員	奥村 茉莉子	
委員	伊藤 良子	
委員	乾 吉佑	
委員	花村 温子	
委員	藤澤 美穂	
委員	宮崎 昭	
事務局	坪井 后代	

3. 臨床心理講座・研修会開催状況

(1) 臨床心理講座開催状況

日 程			テーマ	講 師	参加者
4月7日	(日)	10:30～16:30	バウムテストシリーズ①	阿部 恵一郎	45
4月28日	(日)	10:30～16:30	ストレスマネジメント入門	坂上 頼子	47
4月30日	(火・祝)	10:30～16:30	幼稚園における特別支援教育(ワークショップ形式)	松村 裕美	49
5月19日	(日)	10:30～17:30	心理療法統合の実際	岩壁 茂	42
5月26日	(日)	10:30～16:00	ひきこりの家族支援入門	齋藤 暢一朗	46
6月1日	(土)	10:30～16:30	フォーカシングを体験的に学ぶ	日笠 摩子	48
6月2日	(日)	10:30～16:30	認知行動療法入門	大塚 明子	44
6月29日	(土)	10:30～16:30	クライアントの個性と葛藤に応じる認知行動療法	杉山 崇	47
6月30日	(日)	10:30～16:30	産業心理臨床の実践ー働く大人の発達障害を理解するー	瀬戸山 聡子	48
7月15日	(月・祝)	10:30～17:30	自律訓練法	笠井 仁	30
7月21日	(日)	10:30～16:30	バウムテストシリーズ②	阿部 恵一郎	49
7月27日	(土)	10:30～16:30	学齢期の発達障害への理解と具体的な支援	黒澤 礼子	51
8月4日	(日)	10:30～16:30	医療機関における心理検査の実践的活用	福田 由利	46
8月25日	(日)	10:30～16:30	認知機能評価について学ぶ	梨谷 竜也	50
8月31日	(土)	10:30～16:30	さまざまな素材による表現療法	齋藤 ユリ	25
9月1日	(日)	10:30～16:30	小学校における特別支援教育(ワークショップ形式)	松村 裕美	47
9月8日	(日)	10:30～16:30	認知行動療法の実際	大塚 明子	49
9月15日	(日)	10:30～16:30	日本版 WISC-IV 知能検査の活用ー紹介編ー	大六 一志	99
9月16日	(月・祝)	10:30～16:30	事例で学ぶひきこもり支援	井利 由利	47
9月23日	(月・祝)	10:30～16:30	ストレスマネジメント(中級)	坂上 頼子	43
9月28日	(土)	10:30～16:30	発達障害と子どもの社会的不適応について	黒澤 礼子	50
11月4日	(月・祝)	10:30～16:30	発達障害・愛着障害・ゲーム依存の理解と支援	高山 恵子	53
11月10日	(日)	10:30～16:30	医療で働く心理士の基本姿勢と基礎知識	花村・福田・小林他	49
11月17日	(日)	10:30～16:30	バウムテストシリーズ③	阿部 恵一郎	50
11月23日	(土)	10:30～16:30	電話相談に役立つ働く人のこころの健康に関する基礎知識	尾崎健一・伊藤厚子	41
12月14日	(土)	10:30～16:30	乳幼児期・幼児期の発達障害への理解と具体的な支援	黒澤 礼子	49
12月15日	(日)	10:30～16:30	フェルトセンスを臨床に活用する:フォーカシング指向心理療法の基本	日笠 摩子	33
12月22日	(日)	10:30～16:30	思春期における特別支援教育(ワークショップ形式)	松村 裕美	49
1月12日	(日)	10:30～16:30	産業心理臨床の実践ー働く大人の発達障害を理解するー	瀬戸山 聡子	48
1月13日	(月・祝)	10:30～17:30	自律訓練法	笠井 仁	29
1月18日	(土)	10:30～16:30	質的研究法入門	能智 正博	44
1月25日	(土)	10:30～16:30	発達障害への早期支援:「超早期療育プログラム」とは	黒澤 礼子	45
1月26日	(日)	10:30～16:30	日本版 WISC-IV 知能検査の活用ー実践編ー	大六 一志	93
1月26日	(日)	10:30～16:30	小児がんの心理臨床③小児がんの抗がん剤の治療による影響、認知の問題を知る	松本 公一他	45
2月2日	(日)	10:30～16:30	バウムテストシリーズ④	阿部 恵一郎	50

日 程			テーマ	講 師	参加者
2月8日	(土)	10:30～16:30	家族療法入門ー家族関係の理解とジェノグラムの活用ー	野末 武義・大塚 斉	43
2月9日	(日)	10:30～16:30	英語で学ぶ心理療法	岩壁 茂	43
2月11日	(火・祝)	10:30～16:30	ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)相談の実際と課題	杉原 保史・宮田 智基	43
2月16日	(日)	10:30～16:30	カルト問題への対応をめぐってー学生相談及び私設心理相談での実践をもとにー	平野 学	45
2月23日	(日)	10:30～16:30	アセスメントとしての描画と、絵を描くという体験	横山 恭子	47
2月29日	(土)	10:30～16:30	インターネット依存・ゲーム障害の心理臨床	三原 聡子	49
3月1日	(日)	10:30～16:30	医療におけるコンサルテーション・リエゾン	小林 清香	【中止】
3月8日	(日)	10:00～16:30	心理臨床における職業倫理を学ぶー産業領域における倫理課題ー	大林 裕司	【中止】
3月14日	(土)	10:00～16:30	発達障害・愛着障害・ゲーム依存の理解と支援(2)	高山 恵子	【中止】
3月22日	(日)	10:30～16:30	メールカウンセリング(遠隔カウンセリング)の理論と実際	宮崎 圭子	【中止】
3月28日	(土)	10:30～16:30	事例から学ぶ「子どもお精神分析的心理療法」入門	小笠原 貴史	【中止】
3月29日	(日)	10:30～16:30	基礎から学ぶひきこもり支援	井利 由利	【中止】
※3月に予定していた6講座については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、上記のとおり開催を中止した。				合計 41 講座	1,950 名

(2) 研修会開催状況

①定例研修会等

研修会名：日程		会 場	参加者
定例研修会Ⅰ 2019年10月5日 (土)～6(日)	第1回研修企画検討プロジェクトシンポジウム	東京ビッグサイト	429
	第13回障害の理解と支援に関する総合研修会(1)		426
	第16回産業・組織心理臨床専門研修会		213
	第21回被害者支援研修会		98
	第5回ひきこもり対策研修会		117
	第13回障害の理解と支援に関する総合研修会(2)		396
	第26回医療保健領域研修会		119
	第5回教育領域研修会		324
	第13回私設心理相談領域研修会		70
	第18回児童福祉専門研修会		244
	第16回高齢者支援研修会		92
	第10回司法矯正領域研修会		99
第6回自死予防専門研修会	96		
合 計			2,723
定例研修会Ⅱ 2020年2月8日 (土)～9(日)	第14回障害の理解と支援に関する総合研修会(1)	大阪国際会議場	486
	第9回倫理ワークショップ		120
	第7回アディクション心理臨床研修会		219
	第14回障害の理解と支援に関する総合研修会(2)		522
	第17回産業・組織心理臨床専門研修会		115
	第17回高齢者支援研修会		194
合 計			1,656
その他 2019年5月12日 (日)	第4回(2019)「臨床心理士」新規取得者のための基礎研修会	跡見学園女子大学	302
その他 2019年7月6(土) ～7日(日)	第2回認知機能・神経心理アセスメント研修 (認知症コース・ベーシック)	大阪科学技術センター	112
その他 2019年12月1日 (日)	2019年度災害支援研修会	跡見学園女子大学	208
その他 2020年1月18(土) ～19日(日)	第1回認知機能・神経心理アセスメント研修 (高次脳機能障害コース)	TKP築地新富町カン ファレンスセンター	186

②団体会員担当者研修会等

研修会名	日 程	会 場	参加者
産業・組織領域担当者研修会	2019年6月15日	当会研修室	44
第6回全国都道府県臨床心理士会会長懇談会	2019年11月3日	ステーションコンファレンス 万世橋	47
医療保健領域担当者研修会	2020年2月24日	当会研修室	【中止】
合 計			91

※医療保健領域担当者研修会については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、上記のとおり開催を中止した。

4. 電話相談事業

○ 定例電話相談

【実施日時】

午前（9：00～12：00）：金曜日

夜間（19：00～21：00）：月曜日～金曜日

【月別受電件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
午前	31	39	40	45	40	46	
夜間	138	124	146	142	119	137	
計	169	163	186	187	159	183	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2019年度計
午前	41	16	28	27	58	33	444
夜間	133	127	128	115	125	126	1,560
計	174	143	156	142	183	159	2,004
						月平均	167

【参考】2018年度 2,030件（月平均：169件）

5. ひきこもりの家族支援事業

(1) ひきこもりの家族支援セミナー・相談会

① 第7回

開催日：2019年5月25日（土）

会場：当会会議室・研修室（ユニゾ本郷二丁目ビル 4F・2F）

次第：

13：00～14：45 講演会「ひきこもりの家族葛藤を支える支援」

講師：齋藤 暢一郎（ひきこもり対策専門委員会委員・北海道大学）

15：00～15：40 個別相談会①

15：50～16：30 個別相談会②

参加者：講演会：19名（15家族）、個別相談会：11名（8家族） 相談員：10名

② 第8回

開催日：2019年11月2日（土）

会場：当会会議室・研修室（ユニゾ本郷二丁目ビル 4F・2F）

次第：

13：00～14：45 講演会「ひきこもりの葛藤を支える家族支援」

講師：齋藤 暢一郎（ひきこもり対策専門委員会委員・北海道大学）

15：00～15：40 個別相談会①

15：45～16：25 個別相談会②

参加者：講演会：19名（15家族）、個別相談会：17名（13家族） 相談員：10名

(2) ひきこもり家族グループ

① 第1回

開催日：2019年5月13日（月）

会場：当会研修室（ユニゾ本郷二丁目ビル 2F）

次第：

14：00～14：30 ミニ・レクチャー「ひきこもっていても成長できる」

講師：徳丸 享（副会長・立正大学）

14：30～16：00 グループ懇談

参加者：5名（5家族）

② 第2回

開催日：2019年7月22日（月）

会場：当会研修室（ユニゾ本郷二丁目ビル 2F）

次第：

14：00～14：30 ミニ・レクチャー「ひきこもる心理を理解する」

講師：徳丸 享（副会長・立正大学）

14：30～16：00 グループ懇談

参加者：4名（4家族）

③ 第3回

開催日：2019年9月30日（月）

会 場：当会研修室（ユニゾ本郷二丁目ビル 2F）

次 第：

14：00～14：30 ミニ・レクチャー「充電ひきこもり生活のススメ」

講師：徳丸 享（副会長・立正大学）

14：30～16：00 グループ懇談

参加者：4名（4家族）

④ 第4回

開催日：2019年11月25日（月）

会 場：当会研修室（ユニゾ本郷二丁目ビル 2F）

次 第：

14：00～14：30 ミニ・レクチャー「見守る／待つ間にやっておきたいこと」

講師：徳丸 享（副会長・立正大学）

14：30～16：00 グループ懇談

参加者：3名（3家族）

⑤ 第5回

開催日：2020年1月27日（月）

会 場：当会研修室（ユニゾ本郷二丁目ビル 2F）

次 第：

14：00～14：30 ミニ・レクチャー「支援サービスを知る」

講師：徳丸 享（副会長・立正大学）

14：30～16：00 グループ懇談

参加者：7名（7家族）

※第6回を以下のとおり予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催を中止した。

開催日：2020年3月23日（月）

会 場：当会研修室（ユニゾ本郷二丁目ビル 2F）

次 第：

14：00～14：30 ミニ・レクチャー「第三者との関係をつくるために」

講師：徳丸 享（副会長・立正大学）

14：30～16：00 グループ懇談

6. 雑誌、メールマガジンの発行

(1) 雑誌

号数	発行日	主要掲載記事
87号	2019年7月31日	<p>巻頭言「第4期前期の発足に際して」</p> <p>役員会報告 第4期第1回代議員会、第4期前期第1回理事会</p> <p>公認心理師制度関連情報 公認心理師制度と日本臨床心理士会</p> <p>特集—暴力問題への心理支援 特集にあたって 暴力の意味するところ 家庭内で起こる暴力 児童虐待と連携 組織におけるハラスメント 暴力加害者へのアプローチ DV・虐待を例にして アンガーマネジメント教育の必要性と実践</p> <p>諸領域の動向と諸課題の取り組み 医療保健領域委員会：より良いチーム医療を目指し、多職種連携をどう学ぶか 産業・組織領域委員会：公認心理師法施行後の産業領域の心理職のあり方 被害者支援委員会：学校緊急支援における機関連携と支援構造の実際 教育領域委員会：スクールカウンセラーが学校で実践できる心理教育（予防教育等）について 私設心理相談領域委員会：私設心理相談領域におけるこれからの連携と協働 児童福祉委員会：激変する児童福祉の動向と心理職の役割 障害者福祉委員会：支援に活かす、アセスメントの技能と理解 高齢者福祉委員会：神経心理学へのいざない 司法矯正領域委員会：クライシス・プランの作成と利用 ひきこもり対策専門委員会：[心理職のための]ひきこもる人と家族への支援ガイドを作成して 災害支援プロジェクトチーム：災害心理支援活動の今後に向けて 研修企画検討プロジェクトチーム：会員や社会から求められる研修のあり方</p> <p>三団体合同の活動 学校臨床心理士ワーキンググループの活動から 東西南北—47都道府県団体会員めぐり 栃木県公認心理師協会/広島県臨床心理士会</p> <p>記録・案内 役員会記録/委員会開催状況/事務局情報/事務局からのお知らせ/編集後記 当会よりのお知らせ 「ひきこもり」に関する当会の声明および厚生労働大臣の見解</p>

号数	発行日	主要掲載記事
88号	2020年1月31日	<p>巻頭言「災害とその支援活動にあたって」</p> <p>役員会報告</p> <p>理事会、全国都道府県臨床心理士会会長懇談会報告</p> <p>成瀬悟策先生のご逝去を悼み、ご生前をしのぶ</p> <p>特集一中高年の心理支援</p> <p>特集にあたって</p> <p>SNS相談の特性、応答技術、そして課題</p> <p>自死・自殺の予防にSNSやインターネットを使えば、それでいいのか？</p> <p>若年女性を取り巻く現状～SNSに潜む危険と罠～</p> <p>中高年の生活習慣病を持つ人への心理的援助</p> <p>公認心理師制度関連情報</p> <p>公認心理師制度をめぐる現状</p> <p>日本公認心理師協会の設立記念祝賀会への参加報告</p> <p>諸領域の動向と諸課題の取り組み</p> <p>医療保健領域委員会：医療における多職種チームの中で臨床心理士の力をより発揮するために</p> <p>産業・組織領域委員会：産業領域の心理職のこれからの活躍と成長を見据えて</p> <p>被害者支援委員会：日常の心理臨床業務に活かす被害者支援の視点</p> <p>教育領域委員会：スクールカウンセラーが学校で実践できる心理教育（予防教育等）について</p> <p>私設心理相談領域委員会：私設心理相談領域におけるこれからの連携と協働②</p> <p>児童福祉委員会：妊産婦と乳幼児期の母親のメンタルヘルスへの貢献</p> <p>障害者福祉委員会：障害を正しく理解し、的確な心理的支援へ</p> <p>高齢者福祉委員会：「高齢者臨床～基礎から多職種連携へ～」「多職種連携～心理職はどう専門性を活かすか」「高齢者領域における臨床心理士の活動実態に関するWEB調査報告」実施報告</p> <p>司法矯正領域委員会：離婚紛争とその間に挟まれた子どもへんぼ支援</p> <p>自死予防専門委員会：統計では見えてこない実践を語る、自殺総合対策の動向</p> <p>ひきこもり対策専門委員会：ひきこもり支援の実際</p> <p>災害支援プロジェクトチーム：災害心理支援活動の方向性の共有と今後の課題</p> <p>研修企画検討プロジェクトチーム：自動虐待一領域を超えた総合的理解と連携</p> <p>三団体合同の活動</p> <p>学校臨床心理士ワーキンググループの活動から</p> <p>臨床心理士三団体系子育て支援合同委員会の活動から</p> <p>東西南北一47都道府県団体会員めぐり</p> <p>三重県臨床心理士会/長崎県臨床心理士会</p> <p>記録・案内</p> <p>役員会記録/委員会開催状況/事務局情報/団体会員一覧/編集後記</p>

(2) メールマガジン

No.	発行日	主要掲載記事
24	2019年5月14日	<p>1. 当会からのお知らせ 第4期代議員、理事・監事選挙、日本臨床心理士会作成「〈心理職のための〉ひきこもる人と家族への支援ガイド」、倫理ガイドライン（平成29年4月1日改訂版）、当会の求人情報掲示板</p> <p>2. トピックス 文部科学省：ギャンブル等依存症指導参考資料 内閣府：内閣人事局「障害者雇用マニュアル」 平成31年2～5月「春のあんしんネット・新学期一斉行動」 厚生労働省：自殺対策におけるSNS相談事業ガイドライン 厚生労働省版ストレスチェック実施プログラム 児童虐待防止対策の抜本的強化について 国土交通省：「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」（バリアフリー法）の改正法案可決成立</p> <p>3. 公認心理師制度関連 （一社）日本公認心理師協会：入会申込開始 （一財）日本心理研修センター：「第2回公認心理師試験」 厚生労働省：報道発表資料（第1回公認心理師試験に係る試験問題の取扱いの訂正とお詫び）</p> <p>4. 研修情報等 第2回認知機能・神経心理アセスメント研修（認知症コース・ベーシック）の参加申込開始 第4回「臨床心理士」新規取得者のための基礎研修会の開催、臨床心理講座のご案内他</p> <p>5. 委員会等からのお知らせ・情報提供 アディクション対策専門委員会：ギャンブル・ゲーム依存研修会</p> <p>6. 報道情報等 映画「長いお別れ」を観て あたりまえの日常に「認知症」を描く（認知症フォーラム.com） 中高年ひきこもり61万人 初の全国調査、若年層上回る（朝日新聞）</p>

No.	発行日	主要掲載記事
25	2019年6月24日	<p>1. 当会からのお知らせ 第4期第1回代議員会、第1回理事会開催、平成30年度事業報告・同決算報告承認、新役員体制スタート、倫理ガイドライン（平成29年4月1日改訂版）、当会の求人情報掲示板</p> <p>2. トピックス 「国民のための公認心理師制度推進連盟」への名称変更 内閣官房：認知症施策推進関係閣僚会議 内閣府：男女共同参画週間 法務省：再犯防止シンポジウム2019～依存症からの回復～</p> <p>3. 公認心理師制度関連 （一社）日本公認心理師協会・（一財）日本心理研修センターの各ホームページ、厚生労働省の「公認心理師ページ」紹介</p> <p>4. 研修情報等 臨床心理講座のご案内他</p> <p>5. 報道情報 虐待の防止強化へ、改正関連法成立・体罰禁止（朝日新聞）、改正障害者雇用促進法成立・計画の公表義務付け（副詞新聞）</p>
26	2019年7月29日	<p>1. 当会からのお知らせ 第8回臨床心理士の動向調査実施予告、倫理ガイドライン（平成29年4月1日改訂版）、当会の求人情報掲示板</p> <p>2. トピックス 厚生労働省：自殺予防週間（9月10日～16日）、「平成30年版厚生労働白書」の公表 文部科学省：学校・教育委員会等向け虐待対応の手引き</p> <p>3. 公認心理師制度関連 （一社）日本公認心理師協会・（一財）日本心理研修センターの各ホームページ、厚生労働省の「公認心理師ページ」公認心理師に係る制度・施策の動向</p> <p>4. 研修情報等 定例研修会Ⅰ（東京）申込受付、日本精神神経学会「第8回精神科臨床における多職種チームの活かし方」フォーラム、発達障害支援人材育成研修会2019「発達障害支援のキホン」他</p>

No.	発行日	主要掲載記事
27	2019年9月30日	<p>1. 当会からのお知らせ 「第8回臨床心理士の動向調査」協力依頼、「高齢者領域における臨床心理士の活動実態に関するWEB調査報告書(2018)」、倫理ガイドライン(平成29年4月1日改訂版)、当会の求人情報掲示板</p> <p>2. 公認心理師制度関連 (一社)日本公認心理師協会・(一財)日本心理研修センターの各ホームページ、厚生労働省の「公認心理師ページ」紹介</p> <p>3. 研修情報等 定例研修会Ⅰ(東京)申込締切、発達障害支援人材育成研修会2019「発達障害支援のキホン」、臨床心理講座のご案内他</p>
28	2019年11月13日	<p>1. 当会からのお知らせ 「第8回臨床心理士の動向調査」協力依頼、倫理ガイドライン(平成29年4月1日改訂版)、当会の求人情報掲示板</p> <p>2. 研修情報等 2019年度災害支援研修会「災害心理支援活動の方向性の共有と今後の課題」、「第1回認知機能・神経心理アセスメント研修(高次脳機能障害コース)」、定例研修会Ⅱ(大阪)・臨床心理講座のご案内他</p> <p>3. 公認心理師制度関連 (一社)日本公認心理師協会・(一財)日本心理研修センターの各ホームページ、厚生労働省の「公認心理師ページ」紹介</p>
29	2019年12月2日	<p>件名【動向調査回答締切延長のお知らせ】</p> <p>1. 当会からのお知らせ 「第8回臨床心理士の動向調査」回答締切延長、倫理ガイドライン(平成29年4月1日改訂版)、当会の求人情報掲示板</p> <p>2. 研修情報等 「第1回認知機能・神経心理アセスメント研修(高次脳機能障害コース)」、定例研修会Ⅱ(大阪)申込受付開始、臨床心理講座のご案内他</p> <p>3. トピックス 中央社会保険医療協議会総会(第434回)資料における公認心理師等の心理職の記載について他</p> <p>4. 公認心理師制度関連 (一社)日本公認心理師協会設立記念祝賀会の開催、厚生労働省「公認心理師ページ」紹介</p>

No.	発行日	主要掲載記事
30	2019年12月26日	<p>件名【動向調査をご返送ください】</p> <p>～新年を迎える前に～</p> <p>■重要なお願い■</p> <p>「第8回臨床心理士の動向調査」への協力依頼</p>
31	2020年1月8日	<p>会員の皆様へ：会長からの新年のご挨拶</p> <p>～新年を迎えた皆様に～</p> <p>■新年、最初のお願い■</p> <p>「第8回臨床心理士の動向調査」への協力依頼</p>
32	2020年3月3日	<p>1. 当会からのお知らせ</p> <p>新型コロナウイルス感染症に関連した対応についてのメッセージ 『子どもに関わるすべての方々へ～感染症対策下における子どもの安心・安全を高めるために～』（2020年3月2日）、2020年度会費納入のご案内、倫理ガイドライン（平成29年4月1日改訂版）、当会の求人情報掲示板</p> <p>2. 研修情報等</p> <p>臨床心理講座の3月中の開催中止について</p> <p>3. トピックス</p> <p>厚生労働省：新型コロナウイルス感染症について、新型コロナウイルス感染症 対策の基本方針</p> <p>文部科学省：新型コロナウイルスに関連した感染症対策に関する対応について</p> <p>内閣府：新型コロナウイルス感染症の対応について</p> <p>ストレス・災害時こころの情報センター：「支援者向けマニュアル」</p> <p>4. 公認心理師制度関連</p> <p>中央社会保険医療協議会総会（第451回）での2020年度診療報酬改定内容の答申について、（一社）日本公認心理師協会の入会金免除について、厚生労働省「公認心理師ページ」紹介</p>

7. ホームページの利用状況

(1) 会員個人専用ページ（MYページ）利用状況

ウェブ登録会員活用者 17,925名（前年比1,189名増加）

(2) 『臨床心理士に会うには』都道府県別掲載件数

整理番号	都道府県	掲載件数	整理番号	都道府県	掲載件数
1	北海道	10	25	滋賀	2
2	青森	0	26	京都	23
3	岩手	2	27	大阪	49
4	宮城	2	28	兵庫	29
5	秋田	1	29	奈良	11
6	山形	2	30	和歌山	2
7	福島	4	31	鳥取	0
8	茨城	4	32	島根	2
9	栃木	5	33	岡山	6
10	群馬	4	34	広島	13
11	埼玉	32	35	山口	5
12	千葉	15	36	徳島	3
13	東京	151	37	香川	3
14	神奈川	47	38	愛媛	2
15	山梨	3	39	高知	1
16	長野	5	40	福岡	19
17	新潟	5	41	佐賀	1
18	富山	2	42	長崎	2
19	石川	3	43	熊本	3
20	福井	1	44	大分	3
21	岐阜	4	45	宮崎	0
22	静岡	14	46	鹿児島	3
23	愛知	25	47	沖縄	1
24	三重	1	48	その他	4
				掲載件数	529

(3) ホームページ求人情報掲載状況

(2019年4月～2020年3月掲載)

領 域	機関の種類	機関数
保健医療	病院・診療所	193
	精神保健福祉センター・保健所・保健センター	19
	保健医療関係その他	0
福 社	児童福祉施設・機関（児童相談所を含む）	45
	障害者福祉施設・機関	7
	女性福祉施設・機関	2
	福祉関係その他	9
教 育	公立教育相談機関・教育委員会	42
	幼稚園・小学校・中学校・高校・予備校	1
	各自治体から派遣SC	14
	教育関係その他	0
大学 研究所	専門学校・短大・大学等（主に教育・研究）	11
	専門学校・短大・大学等（主に相談業務）	49
	研究所・研究機関	4
司法法務 警察 防衛	法務省（矯正保護）関係機関	0
	司法法務警察関係	3
	自衛隊	2
産業労働	独立の健康管理・相談所	22
	産業労働関係	6
私設心理相談	民間心理相談機関	13
	民間心理相談機関その他	3
その他	その他(被災地支援含む)	16
	合 計	461

8. 行政機関、他団体・機関への委員・役員等の選出状況

(1) 行政機関

府 省	組 織	役職等
法 務 省	「社会を明るくする運動」中央推進委員会	委 員
文部科学省	いじめ防止対策協議会	委 員
	不登校に関する調査研究協力者会議	委 員
	特別支援教育ネットワーク推進委員会	構成員
厚生労働省	健やか親子21（第2次）推進協議会	参画団体
	児童虐待防止対策協議会	構成団体
	【委託事業】「こころの耳」委員会 (受託者：社団法人産業カウンセラー協会)	委 員
警 察 庁	児童の性被害撲滅対策推進協議会	構成団体
東 京 都	自殺総合対策東京会議 計画策定部会	委 員
福 島 県	子どもの心のサポートチーム協議会	構成員
大 田 区	大田区自殺総合対策協議会	委 員

(2) 他団体・機関

団 体・機 関	役職等
一般社団法人日本発達障害ネットワーク（JDDnet）	代議員
	理 事
	多職種連携委員会
特定非営利活動法人日本障害者協議会（JD）	正会員
	政策委員会
公益社団法人全国精神保健福祉連合会（みんなネット）	会 員
チーム医療推進協議会（事務局：公益社団法人日本理学療法士協会）	代議員
	理 事
被災者健康支援連絡協議会（事務局：公益社団法人日本医師会）	構成団体
医療関連職種団体協議会（公益財団法人国際医療技術財団）	構成団体
医療技術者団体協議会	構成団体
公益財団法人日本精神神経学会	多職種協働委員会
	災害支援委員会
特定非営利活動法人 KHJ 全国ひきこもり家族会連合会	賛助会員
一般社団法人東京経営者協会	相談担当者
	セミナー講師
公認心理師制度推進連盟	会員団体
	理事選出団体
臨床心理士関係三団体（公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会・一般社団法人日本心理臨床学会・当会）	学校臨床心理士ワーキンググループ
	子育て支援合同委員会
	委 員
	委 員

9. 後援名義使用承認一覧表

※受理順に記載

No.	主催団体等	日程・名称・テーマ
1	公益財団法人こころのバリアフリー研究会	2019. 5. 25～26 第 6 回公益財団法人こころのバリアフリー研究会総会
2	集団認知行動療法研究会	2019. 11. 10 第 10 回集団認知行動療法研究会 学術総会
3	第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会	2019. 11. 27～29 第 33 回日本エイズ学会学術集会・総会
4	厚生労働省	2019. 10. 24 第 67 回精神保健福祉全国大会
5	公益社団法人全国被害者支援ネットワーク	2019. 10. 18 全国犯罪被害者支援フォーラム 2019
6	一般社団法人日本発達障害ネットワーク	2019. 10. 13～14 2019 年度発達障害支援人材育成研修会共催
7	公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン	日本子ども虐待防止学会第 25 回学術集会ひょうご大会 (後援承認済み) 意見広告掲載賛同
8	特定非営利活動法人地域精神保健福祉機構	2019. 9. 21～22 リカバリー全国フォーラム 2019
9	公益財団法人こころのバリアフリー研究会	2019. 6. 1～10. 31 「こころのバリアフリー賞」表彰事業
10	公益社団法人全国精神保健福祉会連合会	2019. 11. 7～8 第 12 回全国精神保健福祉家族大会 in 愛知
11	一般社団法人日本発達障害ネットワーク	2019. 10. 6 JDDnet セミナー in 愛媛 2019
12	一般社団法人日本発達障害ネットワーク	2019. 9. 14 2019JDDnet セミナー in ながの
13	G D I (性同一障害) 学会	2020. 3. 20～21 G D I (性同一障害) 学会第 22 回研究大会」・総会
14	よこはま乳がん学校	2020. 1. 11～12、12. 22～23 第 10 期よこはま乳がん学校
15	健康生きがい学会	2019. 10. 13 健康生きがい学会第 10 回大会
16	一般社団法人日本発達障害ネットワーク	2019. 12. 1 JDDnet 第 15 回年次大会、研修会共催
17	日本小児神経学会	2020. 3. 8 第 14 回プライマリケア医 (小児科医、総合診療) のための 子どもの心の診療セミナー
18	公益財団法人日本精神衛生会	2020. 3. 8 メンタルヘルスの集い (第 34 回日本精神保健会議)
19	日本外来臨床精神医療学会	2020. 2. 16 第 20 回日本外来臨床精神医学会
20	日本デイケア学会	2020. 10. 1～2 第 25 回日本デイケア学会年次大会千葉大会
21	公益社団法人日本理学療法士協会	2020. 5. 23～24 第 55 回日本理学療法学術研修大会 2020 in おおいた
22	公益社団法人全国精神保健福祉会連合会	2020. 2. 21 みんなねっとフォーラム 2020
23	日本心理教育・家庭教室ネットワーク第 23 回研究 集会北海道浦河大会実行委員会	2020. 4. 17～18 日本心理教育・家庭教室ネットワーク第 23 回研究集会 北海道浦河大会

No.	主催団体等	日程・名称・テーマ
24	公益財団法人こころのバリアフリー研究会	2020. 5. 30～31 第 7 回公益財団法人こころのバリアフリー研究会総会
25	大阪府臨床心理士会	2020. 7. 5 大阪府臨床心理士会第 4 回公開講座&相談会
26	一般社団法人日本子ども虐待防止学会	2020. 11. 28～29 日本子ども虐待防止学会第 26 回学術集会いしかわ金沢大会
27	一般社団法人日本摂食障害協会	2020. 6. 7 世界摂食障害アクションデイ 2020

10. 団体会員主催研修会等共催承認一覧

※受理順に記載

No.	団体会員	日程・名称
1	(社) 東京公認心理師協会	2019. 4. 7 2019 年度第 1 回全体研修会
2		2019. 5. 19 学校臨床心理研究会第 1 回全大会・地域会
3		2019. 5. 26 新転入者のための研修会
4	茨城県公認心理師協会	2019. 7. 7 令和元年度 春期研修会
5	山口県公認心理師協会	2019. 7. 21 2019 年度第 2 回全体研修会
6	(社) 東京公認心理師協会	2019. 6. 2 「子どものための心理的応急処置」1 日研修
7		2019. 6. 23 第 1 回こども相談室実践研修会
8	群馬県公認心理師協会	2019. 7. 21 2019 年度 基礎研修会
9	埼玉県公認心理師協会	2019. 6. 30 2019 年度大会
10	静岡県公認心理師協会	2019. 5. 26 新・転入者研修会
11	栃木県公認心理師協会	2019. 5. 12 2019 年度相互研修会
12	沖縄県公認心理師協会	2019. 6. 30 第 1 回特別研修会
13	(社) 千葉県公認心理師協会	2019. 6. 23 2019 年度 6 月研修セミナー
14		2019. 7. 7 心理臨床基礎研修会
15	(社) 東京公認心理師協会	2019. 7. 13～14 スクールカウンセラー研修会（経験者コース）
16		2019. 7. 21 加害者家族の心理的支援
17	静岡県公認心理師協会	2019. 6. 23 第 1 回総会・大会
18	栃木県公認心理師協会	2019. 6. 30 第 1 回学校臨床心理士研修会
19	静岡県公認心理師協会	2019. 7. 21 基礎研修 I - 倫理、学校臨床、福祉、司法・犯罪領域-
20	埼玉県公認心理師協会	2019. 7. 15 被害者支援研修会
21	(社) 千葉県公認心理師協会	2019. 8. 31 教育領域・事例検討会
22		2019. 9. 22 9 月事例検討研修セミナー

No.	団体会員	日程・名称
23	(社) 千葉県公認心理師協会	2019. 11. 10 11 月事例検討研修セミナー
24	(社) 東京公認心理師協会	2019. 9. 15 医療保健領域で働く心理職の交流研修会
25		2019. 9. 15 「心理的応急処置 (PFA) 」 1 日研修
26	静岡県公認心理師協会	2019. 9. 16 被害者支援研修「性暴力被害者支援の取り組み」
27	富山県公認心理師協会	2019. 10. 13 第 31 回心理臨床研修会
28	沖縄県公認心理師協会	2019. 9. 29 第 2 回特別研修会 産業組織領域研修
29	茨城県公認心理師協会	2019. 8. 25 第 1 回スクールカウンセラー専門部会研修会
30	(社) 佐賀県公認心理師協会	2019. 11. 23 日本臨床心理士会産業・組織領域委員会心理臨床講師派遣利用研修会
31	栃木県公認心理師協会	2019. 9. 1 2019 年度学校臨床心理士中堅研修会
32	(社) 東京公認心理師協会	2019. 10. 13 大会 2019
33		2019. 11. 24 子育て支援研修会
34		2019. 12. 1 スクールカウンセラー研修会 (アドバンスト)、第 2 回全大会・地域会
35		2020. 1. 25 スクールカウンセラー研修会 (入門コース) 【1 日目】
36		2020. 1. 26 スクールカウンセラー研修会 (入門コース) 【2 日目】
37	山口県公認心理師協会	2019. 11. 17 2019 年度第 3 回全体研修会
38	栃木県公認心理師協会	2019. 9. 15 2019 年度産業心理臨床研修会
39	(社) 大分県公認心理師協会	2019. 9. 22 大分県臨床心理士会・大分県公認心理師協会大研修会
40		2019. 11. 3 大分県臨床心理士会・大分県公認心理師協会大研修会
41	埼玉県公認心理師協会	2019. 11. 17 第 3 回子ども家庭支援研修会
42	群馬県公認心理師協会	2019. 11. 10 学校臨床心理士委員会企画研修会
43	静岡県公認心理師協会	2019. 11. 10 災害支援領域委員会主催研修会 2019
44		2019. 11. 17 障害者福祉委員会主催 (児童福祉委員会共催) 研修会

No.	団体会員	日程・名称
45	静岡県公認心理師協会	2019. 10. 27 基礎研修Ⅱ－倫理、医療保健、私設・産業領域－
46	栃木県公認心理師協会	2019. 10. 20 第2回学校臨床心理士研修会
47	茨城県公認心理師協会	2019. 11. 4 第2回スクールカウンセラー専門部会研修会
48		2019. 11. 24 秋期研修会
49	静岡県公認心理師協会	2019. 12. 15 学校臨床研修－学校現場における緊急支援－
50	(社) 大分県公認心理師協会	2019. 12. 22 2019年度基礎研修会
51	(社) 東京公認心理師協会	2020. 1. 26 子育て支援ネットワークー日研修会
52		2020. 2. 16 相談技能向上のための研修会
53		2020. 2. 23 危機支援チーム全体研修会
54		2020. 3. 1 第4回こども相談室実践研修会
55		2020. 3. 8 大会 2019
56		2020. 3. 15 医療保健領域委員会企画 ー日研修会
57	山口県公認心理師協会	2020. 3. 8 2019年度第4回全体研修会
58	埼玉県公認心理師協会	2019. 12. 14 第6回新入会員研修会
59	群馬県公認心理師協会	2020. 2. 11 2019年度 心理臨床セミナー
60	埼玉県公認心理師協会	2020. 2. 15 第10回産業・組織領域研修会
61	静岡県公認心理師協会	2020. 2. 29 地区別研修会 令和元年度東部地区研修会
62	栃木県公認心理師協会	2019. 12. 22 2019年度子育て支援研修会
63	(社) 千葉県公認心理師協会	2020. 2. 9 令和元年度2月研修セミナー
64	栃木県公認心理師協会	2020. 1. 11 被害者支援研修会 (宇都宮)
65		2020. 2. 11 被害者支援研修会 (小山)
66	静岡県公認心理師協会	2020. 1. 26 高齢者福祉研修会

No.	団体会員	日程・名称
67	静岡県公認心理師協会	2020. 2. 23 成人期のひきこもり支援～職種間の連携と心理士の仕事について考える～
68	(社) 千葉県公認心理師協会	2020. 3. 8 WHO版PFA研修会
69	栃木県公認心理師協会	2020. 2. 8 第3回学校臨床心理士研修会
70	沖縄県公認心理師協会	2019. 6. 22～2020. 3. 19 (計9回) 【継続型研修会】学校臨床領域
		2019. 6. 27～2020. 1. 26 (計4回) 【継続型研修会】産業組織領域
		2019. 7. 21～2020. 1. 26 (計3回) 【継続型研修会】子どもの育ち支援領域
		2019. 7. 23・2020. 2. 8 (計2回) 【継続型研修会】被害者支援領域
		2019. 8. 18～2020. 2. 22 (計4回) 【継続型研修会】医療保健領域

11. 代議員会・理事会・常任理事会に関する事項

(1) 代議員会

① 第4期第1回(定時)代議員会

1. 日 時：2019年6月23日(日)午後1時30分～4時00分

2. 場 所：ステーションコンファレンス万世橋

3. 議 案：

第1号議案 平成30年度事業報告並びに同決算報告(案)承認の件
事業報告書と決算報告書について説明がなされ、その後監査報告が行われ原案どおり承認された。

第2号議案 理事全員任期満了につき選任の件
任期満了に伴う理事候補者選出選挙に基づき、21名の候補者ごとに選任することについて採決し、全候補者が過半数の多数をもって承認され、被選任者は、いずれもその就任を承諾した。

第3号議案 監事全員任期満了につき選任の件
任期満了に伴う監事候補者選出選挙に基づき、2名の候補者ごとに選任することについて採決し、両候補者が過半数の多数をもって承認され、被選任者は、いずれもその就任を承諾した。

(2) 理事会

① 第3期後期第1回理事会

1. 日 時：2019年5月6日(日)午後1時30分～4時00分

2. 場 所：日本臨床心理士会会議室

3. 議 案：

第1号議案 平成30年度事業報告(案)承認の件

第2号議案 平成30年度決算報告(案)承認の件

第3号議案 倫理委員会31号案件の処遇案承認の件

第4号議案 第4期第1回(定時)代議員会招集の件

② 第4期前期第1回理事会

1. 日 時：2019年6月23日(日)午後3時00分～3時30分

2. 場 所：ステーションコンファレンス万世橋

3. 議 案：

第1号議案 代表理事・会長1名選定の件

第2号議案 代表理事・副会長2名選定の件

第3号議案 専務理事1名及び常務理事3名選定の件

第4号議案 「ひきこもり」を正しく理解し、誤解を生じさせない報道を求める声明発信の件

③ 第4期前期第2回理事会

1. 日 時：2019年8月12日（月・祝）午後1時30分～4時00分
2. 場 所：日本臨床心理士会会議室
3. 議 案：
第1号議案 委員会委員長並びにプロジェクトチーム代表選任の件
第2号議案 就業規則の一部改正の件

④ 第4期前期第3回理事会

1. 日 時：2019年9月16日（月・祝）午後1時30分～4時00分
2. 場 所：日本臨床心理士会会議室
3. 議 案：
第1号議案 委員会ならびにプロジェクトチームの委員選任の件

⑤ 第4期前期第4回理事会

1. 日 時：2020年1月13日（月・祝）午後1時30分～4時00分
2. 場 所：日本臨床心理士会会議室
3. 議 案：
第1号議案 ひきこもり対策専門委員会の委員選任承認の件

⑥ 第4期前期第5回理事会

1. 日 時：2020年3月20日（金・祝）午後1時30分～4時00分
2. 場 所：日本臨床心理士会会議室
3. 議 案：
第1号議案 2020年度事業計画（案）承認の件
第2号議案 2020年度収支予算（案）承認の件
第3号議案 事務局職員採用の件
第4号議案 倫理委員会30号案件の再度の処遇案承認の件
第5号議案 ひきこもり対策専門委員会の名称変更の件

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、Web会議システムでの参加を可とし、2名の参加があった。

上記のとおり開催し、すべての議案が承認された。

（3）常任理事会

※場所はすべて当会会議室

- ① 第3期後期第14回常任理事会：2019年5月11日（土）午後4時00分～6時00分
- ② 第4期前期第1回常任理事会：2019年7月27日（土）午後4時00分～6時00分
- ③ 第4期前期第2回常任理事会：2019年9月7日（土）午後7時00分～9時00分
- ④ 第4期前期第3回常任理事会：2019年11月3日（日・祝）午後5時00分～6時30分
- ⑤ 第4期前期第4回常任理事会：2019年12月26日（木）午後7時00分～9時00分
- ⑥ 第4期前期第5回常任理事会：2020年3月6日（金）午後7時00分～9時00分

2019 年度決算報告書

貸 借 対 照 表

正味財産増減計算書

財 産 目 録

収 支 計 算 書

貸借対照表

2020年03月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現金預金			
現金	158,705	37,761	120,944
普通預金	52,316,083	41,430,468	10,885,615
定期預金	102,000,000	102,000,000	0
郵便振替貯金	35,919,489	24,795,252	11,124,237
現金預金合計	190,394,277	168,263,481	22,130,796
流動資産合計	190,394,277	168,263,481	22,130,796
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	7,207,000	6,203,000	1,004,000
選挙関係引当金積立資産	3,500,000	14,000,000	△10,500,000
建物付属施設準備資産	50,000,000	50,000,000	0
特別災害時支援引当資産	18,000,000	18,000,000	0
特定資産合計	78,707,000	88,203,000	△9,496,000
(2) その他固定資産			
建物付属設備	5,250,000	5,250,000	0
建物減価償却累計額	△2,110,500	△1,758,750	△351,750
器具備品	19,545,780	13,900,575	5,645,205
器具備品減価償却累計額	△9,044,529	△10,809,602	1,765,073
敷金	8,982,400	8,982,400	0
その他固定資産合計	22,623,151	15,564,623	7,058,528
固定資産合計	101,330,151	103,767,623	△2,437,472
資産合計	291,724,428	272,031,104	19,693,324
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	489,474	981,964	△492,490
流動負債合計	489,474	981,964	△492,490
負債合計	489,474	981,964	△492,490
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	291,234,954	271,049,140	20,185,814
(うち特定資産への充当額)	78,707,000	88,203,000	△9,496,000
正味財産合計	291,234,954	271,049,140	20,185,814
負債及び正味財産合計	291,724,428	272,031,104	19,693,324

正味財産増減計算書

2019年04月01日から 2020年03月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
受取会費	168,572,100	166,506,000	2,066,100
受取会費計	168,572,100	166,506,000	2,066,100
研修会事業収益			
研修会事業収益	27,780,000	21,998,656	5,781,344
現任者講習会収益	0	6,755,000	△6,755,000
研修会事業収益計	27,780,000	28,753,656	△973,656
臨床心理講座事業収益			
臨床心理講座収益	10,617,000	13,016,000	△2,399,000
臨床心理講座事業収益計	10,617,000	13,016,000	△2,399,000
検索システム収益			
検索システム収益	1,427,176	1,627,000	△199,824
検索システム収益計	1,427,176	1,627,000	△199,824
雑収益			
雑収益	4,488,716	3,834,279	654,437
雑収益計	4,488,716	3,834,279	654,437
経常収益計	212,884,992	213,736,935	△851,943
(2) 経常費用			
事業費			
刊行費	18,885,072	18,598,909	286,163
委員会活動費	8,629,598	11,184,234	△2,554,636
会議費	777,128	2,721,667	△1,944,539
広報・渉外費	2,938,407	4,065,410	△1,127,003
システム管理費	2,278,515	2,368,992	△90,477
研修会運営費	25,433,828	65,601,378	△40,167,550
電話相談事業	4,681,885	4,583,079	98,806
臨床心理講座運営費	3,465,234	4,148,730	△683,496
臨床心理士賠償責任保険関係費	23,775,032	23,557,974	217,058
事業費計	90,864,699	136,830,373	△45,965,674
管理費			
常任理事会	1,223,884	1,715,313	△491,429
理事会	2,537,826	2,346,449	191,377
代議員会	2,651,640	5,424,892	△2,773,252
団体会員会	2,551,824	2,830,713	△278,889
事務局会議	83,844	116,779	△32,935
事務委託費	835,275	108,270	727,005
施設費	20,082,745	18,533,283	1,549,462
人件費	47,090,941	45,846,239	1,244,702
通信費	5,255,099	4,414,836	840,263
印刷費	3,527,512	3,049,110	478,402
消耗品費	110,948	58,287	52,661
備品費	55,312	21,112	34,200
図書費	15,027	4,767	10,260
購読料	36,188	16,376	19,812

正味財産増減計算書

2019年04月01日から 2020年03月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
雑費	57,532	59,903	△2,371
選挙関係費支出	12,957,250	700	12,956,550
租税公課	505,700	735,100	△229,400
建物設備減価償却費	351,750	351,750	0
器具備品減価償却費	1,904,182	1,377,931	526,251
管理費計	101,834,479	87,011,810	14,822,669
経常費用計	192,699,178	223,842,183	△31,143,005
評価損益等調整前当期経常増減額	20,185,814	△10,105,248	30,291,062
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	20,185,814	△10,105,248	30,291,062
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	20,185,814	△10,105,248	30,291,062
当期一般正味財産増減額	20,185,814	△10,105,248	30,291,062
一般正味財産期首残高	271,049,140	281,154,388	△10,105,248
一般正味財産期末残高	291,234,954	271,049,140	20,185,814
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	291,234,954	271,049,140	20,185,814

財 産 目 録

2020年03月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
現金預金	現金 普通預金	手元保管	運転資金とし	158,705
				52,316,083
	定期預金	みずほ銀行 本郷支店 ジャパンネット銀行		3,393,344
				48,922,739
				102,000,000
	郵便振替貯金	ジャパンネット銀行 ゆうちょ銀行		100,000,000
				2,000,000
	東京貯金事務センター 通常貯金		35,919,489	
			35,392,619	
			526,870	
現金預金合計				190,394,277
流動資産合計				190,394,277
(固定資産)				
特定資産	退職給付引当資産	みずほ銀行		7,207,000
	選挙関係引当金積立資産	同上		3,500,000
	建物付属施設準備資産	同上		50,000,000
	特別災害時支援引当資産	同上		18,000,000
	特定資産合計			
その他固定資産	建物付属設備			5,250,000
	建物減価償却累計額			△2,110,500
	器具備品			19,545,780
	器具備品減価償却累計額			△9,044,529
	敷金			8,982,400
その他固定資産合計				22,623,151
固定資産合計				101,330,151
資産合計				291,724,428
(流動負債)				
	預り金			489,474
	税預り金・所得税			131,558
	税預り金・謝礼分			175,016
	税預り金・地方税			182,900
流動負債合計				489,474
負債合計				489,474
正味財産				291,234,954

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

この財務諸表は、当年度から「公益法人会計基準」(平成16年10月14日 公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議申合せ)に準拠し作成している。

(1) 固定資産の減価償却の方法

建物、器具備品は定額法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

税込み方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加高	当期減少高	当期末残高
退職給付引当資産	6,203,000	1,004,000	0	7,207,000
選挙関係引当資産	14,000,000	3,500,000	14,000,000	3,500,000
建物付属施設準備資産	50,000,000	0	0	50,000,000
特別災害時支援引当資産	18,000,000	5,000,000	0	23,000,000
合 計	88,203,000	9,703,000	0	97,906,000

2. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建物付属施設備	5,250,000	2,110,500	3,139,500
什器備品	19,545,780	9,044,529	10,501,251
合 計	24,795,780	11,155,029	13,640,751

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載しているため省略する。

2. 引当金明細

退職給付引当金及び選挙関係引当金の明細は、財務諸表に対する注記に記載しているため省略する。

収支計算書

2019年04月01日から 2020年03月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差違	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
(1) 会費収入				
会費収入	168,000,000	168,572,100	△572,100	
会費収入計	168,000,000	168,572,100	△572,100	
(2) 研修会事業収入				
研修会事業収入	20,000,000	27,780,000	△7,780,000	
研修会事業収入計	20,000,000	27,780,000	△7,780,000	
(3) 臨床心理講座事業収入				
臨床心理講座収入	11,500,000	10,617,000	883,000	
臨床心理講座事業収入計	11,500,000	10,617,000	883,000	
(4) 検索システム収入				
検索システム収入	1,500,000	1,427,176	72,824	
検索システム収入計	1,500,000	1,427,176	72,824	
(5) 雑収入				
雑収入	3,500,000	4,488,716	△988,716	
雑収入計	3,500,000	4,488,716	△988,716	
事業活動収入計	204,500,000	212,884,992	△8,384,992	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出				
刊行費支出	31,300,000	18,885,072	12,414,928	
委員会活動費支出	19,685,500	8,629,598	11,055,902	
会議費支出	3,000,000	777,128	2,222,872	
広報・渉外費支出	7,000,000	2,938,407	4,061,593	
システム管理費支出	2,000,000	2,278,515	△278,515	
研修会運営費支出	24,400,000	25,433,828	△1,033,828	
電話相談事業費支出	5,300,000	4,681,885	618,115	
臨床心理講座費支出	5,400,000	3,465,234	1,934,766	
臨床心理士賠償責任保険関係費支出	25,000,000	23,775,032	1,224,968	
事業費支出計	123,085,500	90,864,699	32,220,801	
(2) 管理費支出				
会議費支出				
常任理事会支出	1,700,000	1,223,884	476,116	
理事会支出	2,800,000	2,537,826	262,174	
代議員会支出	5,000,000	2,651,640	2,348,360	
団体会員会支出	4,000,000	2,551,824	1,448,176	
事務局会議支出	150,000	83,844	66,156	
会議費支出計	13,650,000	9,049,018	4,600,982	
事務費支出				
事務委託費支出	1,000,000	835,275	164,725	
施設費支出	18,300,000	20,082,745	△1,782,745	
人件費支出	50,000,000	47,090,941	2,909,059	
通信費支出	5,000,000	5,255,099	△255,099	
印刷費支出	3,500,000	3,527,512	△27,512	
消耗品費支出	150,000	110,948	39,052	
備品費支出	500,000	55,312	444,688	

収支計算書

2019年04月01日から 2020年03月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差違	備考
図書費支出	30,000	15,027	14,973	
購読料支出	50,000	36,188	13,812	
雑支出	200,000	57,532	142,468	
事務費支出計	78,730,000	77,066,579	1,663,421	
選挙関係費支出				
選挙関係費支出	20,000,000	12,957,250	7,042,750	
選挙関係費支出計	20,000,000	12,957,250	7,042,750	
租税公課支出				
租税公課支出	3,000,000	505,700	2,494,300	
租税公課支出計	3,000,000	505,700	2,494,300	
管理費支出計	115,380,000	99,578,547	15,801,453	
事業活動支出計	238,465,500	190,443,246	48,022,254	
事業活動収支差額	△33,965,500	22,441,746	△56,407,246	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
(1) 特定資産取崩収入				
選挙関係引当金積立資産取崩収入	14,000,000	14,000,000	0	
特定資産取崩収入計	14,000,000	14,000,000	0	
投資活動収入計	14,000,000	14,000,000	0	
2. 投資活動支出				
(1) 特定資産取得支出				
退職給付引当資産取得支出	1,500,000	1,004,000	496,000	
選挙関係引当金繰入支出	3,500,000	3,500,000	0	
特別災害時支援引当金繰入支出	2,000,000	0	2,000,000	
特定資産取得支出計	7,000,000	4,504,000	2,496,000	
(2) 固定資産取得支出				
器具備品購入支出	5,000,000	9,314,460	△4,314,460	
固定資産取得支出計	5,000,000	9,314,460	△4,314,460	
投資活動支出計	12,000,000	13,818,460	△1,818,460	
投資活動収支差額	2,000,000	181,540	1,818,460	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出	0	—	0	
当期収支差額	△31,965,500	22,623,286	△54,588,786	
前期繰越収支差額	167,281,517	167,281,517	0	
次期繰越収支差額	135,316,017	189,904,803	△54,588,786	

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、仮払金、未払金、前受会費、預り金を含めている。
なお、前期末および当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰り越し収支差額に含まれる資産および負債の内訳

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	168,263,481	190,394,277
合 計	168,263,481	190,394,277
仮受金	0	0
預り金	981,964	489,474
合 計	981,964	489,474
次期繰越収支差額	167,281,517	189,904,803

監 査 報 告 書

一般社団法人 日本臨床心理士会
会 長 津 川 律 子 様

一般社団法人日本臨床心理士会定款第25条第1項(5)並びに第40条第1項の規定に基づき、2019年度の事業報告及び決算について貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、収支計算書及び帳簿等の関係書類を監査した結果、適正かつ正確であることを認めます。

2020年5月6日

一般社団法人日本臨床心理士会

監事 片岡 玲子 

監事 江口 昌克 

一般社団法人日本臨床心理士会 第4期前期 役員名簿

(役職別、五十音順)

会 長	津川 律子	日本大学文理学部心理学科
副 会 長	高橋 幸市	心理支援オフィス緑蔭舎
副 会 長	徳丸 享	立正大学
専務理事	奥村 茉莉子	事務局長
常務理事	高田 晃	宇部フロンティア大学
常務理事	花村 温子	独立行政法人地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター
常務理事	村上 雅彦	広島ファミリールーム
理 事	伊藤 良子	帝塚山学院大学大学院
理 事	乾 吉佑	多摩心理臨床研究室
理 事	岩倉 拓	あざみ野心理オフィス
理 事	宇田川 一夫	東北福祉大学
理 事	香川 克	京都文教大学
理 事	嘉嶋 領子	かしまえりこ心理室
理 事	鶴 光代	東京福祉大学
理 事	野島 一彦	跡見学園女子大学
理 事	信田 さよ子	原宿カウンセリングセンター
理 事	馬場 禮子	中野臨床心理研究室
理 事	人見 健太郎	みとカウンセリングルームどんぐり
理 事	平野 学	平野カウンセリングオフィス
理 事	妙木 浩之	東京国際大学
理 事	吉村 聡	上智大学
監 事	江口 昌克	静岡大学
監 事	片岡 玲子	立正大学心理臨床センター

(2020年3月31日現在)

00	全国区	岩壁 茂		15	山 梨	吉川 眞理	
00	全国区	岡田 康伸		16	長 野	野川 貴史	
00	全国区	岡本 祐子		17	新 潟	小林 勇	
00	全国区	葛西 眞記子		18	富 山	中塩 眞巳	
00	全国区	川畑 直人		19	石 川	原田 克巳	
00	全国区	窪田 由紀		20	福 井	岡本 克己	
00	全国区	倉光 修		21	岐 阜	鈴木 壯	
00	全国区	黒田 美保		22	静 岡	平岡 篤武	
00	全国区	田中 康雄		23	愛 知	川瀬 正裕	
00	全国区	種市 康太郎				高橋 昇	
00	全国区	富永 良喜		24	三 重	森川 泉	
00	全国区	野村 れいか		25	滋 賀	野田 正人	
00	全国区	平井 正三		26	京 都	香川 克	(理事)
00	全国区	深津 千賀子				小林 哲郎	
00	全国区	福島 哲夫		27	大 阪	加藤 敬	
1	北海道	平野 直己				吉川 征延	
2	青 森	関谷 道夫		28	兵 庫	馬殿 禮子	
3	岩 手	織田 信男				樋口 純一郎	
4	宮 城	宇田川 一夫	(理事)	29	奈 良	川上 範夫	
5	秋 田	佐々木 亮次		30	和歌山	上野 和久	
6	山 形	大御 均		31	鳥 取	菊池 義人	
7	福 島	渡部 純夫		32	島 根	土江 正司	
8	茨 城	金丸 隆太		33	岡 山	進賀 友一	
9	栃 木	小林 真理子		34	広 島	村上 雅彦	(理事)
10	群 馬	猶原 宗雄		35	山 口	高田 晃	(理事)
11	埼 玉	枝久保 達夫		36	徳 島	小倉 正義	
		花村 温子	(理事)	37	香 川	豊島 佳津子	
12	千 葉	齋藤 由美		38	愛 媛	福岡 康馬	
		飛田野 剛		39	高 知	池 雅之	
13	東 京	柴田 恵津子		40	福 岡	奇 恵英	
		滝口 俊子				吉岡 和子	
		徳丸 享	(理事)	41	佐 賀	高橋 幸市	(理事)
		中村 留貴子		42	長 崎	吉田 直樹	
		馬場 禮子	(理事)	43	熊 本	江崎 百美子	
14	神奈川	宮田 葉子		44	大 分	西村 薫	
		岩倉 拓	(理事)	45	宮 崎	矢島 順	
		加藤 志ほ子		46	鹿児島	山喜 高秀	
		谷口 幸一		47	沖 縄	宮城 聡	

(2020年3月31日現在)